

**京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書**

平成22年4月14日

財団法人京都大学教育研究振興財団
会長 辻 井 昭 雄 様

京 都 大 学 総 長
松 本 紘

事業区分	平成21年度・大学全体計画事業助成			
事業名	国際大学連合(APRU・AEARU)への参画			
成果の概要	「成果の概要」以外に添付する資料 無 有(2009年度事業参加者一覧)			
会 計 報 告	事業に要した経費総額	11,940,000 円		
	うち当財団からの助成額	5,500,000 円		
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 京都大学 大学運営費		
	経費の内訳と助成金の用途について			
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)	
	[APRU] 渡航費・滞在費	3,320,000	520,000	
	国内交通費・滞在費	120,000	0	
	[AEARU] 渡航費・滞在費	1,430,000	880,000	
	国内交通費・滞在費	510,000	50,000	
	印刷費	1,090,000	1,090,000	
	[APRU・DSC]			
	宿泊費	2,460,000	2,460,000	
会議費	2,280,000	500,000		
印刷費	370,000	0		
その他	360,000	0		
合 計	11,940,000	5,500,000		

成 果 の 概 要

京都大学総長 松本 紘

【国際大学連合への参画】

京都大学はアジア・太平洋地域の主要な大学の連合組織である APRU（環太平洋大学協会）及び東アジア地域の研究型大学の集まりである AEARU（東アジア研究型大学協会）の事業に積極的に参加することで、本学の研究の進展やプレゼンスを高めている。APRU は、環太平洋地域にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的とし、環太平洋圏の主要大学の学長によって構成され、環太平洋地域社会の発展にとって、効果的な役割を果たしており、本学は、本協会設立メンバーである。AEARU は、東アジア（日本、中国、韓国、香港、台湾）の優れた研究型大学により構成されており、本学は2004年から理事校となり、2008年1月から2年間は本学総長が AEARU 理事会議長として、域内の学術交流を積極的に推進してきた。

平成21年度においては、APRU / AEARU 両組織における事業に本学の研究者及び大学院生を派遣し、積極的な学術交流を行った。これらの経験は、今後の彼らの研究活動のさらなる発展に、必ず生きてくるものと思われる。

来年度も、本学の国際戦略の一環として APRU 及び AEARU 事業に参画する学生や若手研究者の積極的な派遣に務めていきたいと考えております。

また、APRU においては、本学が APRU Doctoral Students Conference（博士課程学生会議）を京都において開催しましたので、以下、その概要を報告します。

第10回APRU博士課程学生会議

APRU 事業の一つである博士課程学生会議は、研究分野を問わず様々な研究にふれることで見識を広め、また、国際的な交流を図ることを目的としています。

このたび、記念すべき第10回会議が7月6日（月）～10日（金）の1週間、本学主催で、京都大学百周年時計台記念館において開催され、26大学、約100名の大学院生が参加しました。

松本総長挨拶、松沢哲郎教授（霊長類研究所長）による「チンパンジーの知性」と題する基調講演で幕を開け、午後には、今回のテーマである「Promoting Originality and Diversity in Research」についてグループディスカッションを行い、最終日のプレゼンテーションコンテストに向け、熱く意見を交わしました。

翌日からは3日間に渡り、各自が多岐に渡った研究テーマで口頭発表を行いました。文化、社会的背景はもとより、異なった専門分野の者同士が情報交換や交流を深める場となり、『他分野の研究発表を聞ける機会は少ないので刺激を受けた』、『探求心や知の交換の貴重な経験となった』などの声が参加者達からあがっていました。

又、セッションの他にも二日間のソーシャルプログラムを行いました。一日目は、本学学生の協力の下、清風荘での茶道体験、書道部の指導による書道体験などのグループに分かれての日本文化体験。二日目は花山天文台、生存圏研究所、防災研究所に分かれての見学を行いました。この間、レセプションでは、本学能楽部金剛会による仕舞披露もあり、海外の学生には日本の伝統文化と最先端技術に直接触れてもらう機会となりました。

最終日の久保田 信准教授（フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所）の基調講演では、自ら歌唱披露の『ベニクラゲ音頭』に参加者も手拍子で盛り上がり、和やかな空気の中、今後の健闘と再会を誓いあいながら閉会しました。

この会議では、一週間にわたり世界各国の多くの若手研究者が交わることにより、研究・文化の交流をより深めることができ、非常に意義のあるものとなりました。参加した学生たちの体験は、今後の彼らの研究活動にも大いに活かされることが期待されます。また、本学のプレゼンスも高めることができました。

最後になりましたが、京都大学教育研究振興財団事業の助成を受けたことにより、多数の研究者を海外に派遣し成果をあげることができ、また、博士課程学生会議を本学で開催することができました。ここに篤くお礼申し上げます。

APRU 2009(平成21)年度事業参加者一覧

APRU Annual Presidents Meeting (APRU年次学長会議)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第13回	2009.6.28-30	カリフォルニア工科大学	松本 紘	総長	
			森 純一	国際交流推進機構長	
			小寺 秀俊	総長室長	
			竹安 邦夫	国際大学連合小委員長	
			梶 佐知子	秘書室専門職員	
			エイズリー・ケアー	国際交流課特定職員	国際部

APRU Senior Staff Meeting (APRUシニアスタッフミーティング)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第7回	2010.3.	慶応義塾大学	森 純一	国際交流推進機構長	
			竹安 邦夫	教授	生命科学研究所

APRU Doctoral Students Conference (APRU博士課程学生会議)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第10回	2009.7.6-7.10	京都大学	Badri Bhakta Sh	D3	工学研究科
			河村拓馬	D1	工学研究科

APRU/AEARU Research Symposium "Earthquake Hazards around the Pacific Rim"
(APRU/AEARUリサーチシンポジウム「環太平洋地震災害に備える」)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第5回	2009.8.17-18	国立台湾大学	山田 真澄	特定助教	次世代開拓ユニット
			阪本真由美	D3	情報学研究所

APRU Undergraduate Summer Program (APRU学部学生サマープログラム)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第4回	2009.7.13-24	シンガポール国立大学	伊関之雄	B3	経済学部

APRU Steering Com. Meeting

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第1回	2009.6.30	APRU事務局 (APM直後開催)	松本 紘	総長	
第2回	2009.10.29	APRU事務局 (電話会議)	欠席		

AEARU 2009(平成21)年度事業参加者一覧

AEARU Annual General Meeting (AEARU年次総会)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第15回	2009.12.2-4	東北大学	松本 紘	総長	
			森 純一	国際交流推進機構長	
第25回理事会と同時開催			辻 裕史	専門員	国際交流課
			Ainslie KERR	特定職員	国際交流課
			奥田 佳代	主任	国際交流課

AEARU Board of Directors Meeting (AEARU理事会)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第24回	2009.4.8-12	浦項工科大学	松本 紘	総長	
			森 純一	国際交流推進機構長	
			小澤 潤	専門職員	国際部
			Ainslie KERR	特定職員	国際部
第25回	2009.12.2-4	東北大学	松本 紘	総長	
			森 純一	国際交流推進機構長	
			辻 裕史	専門員	国際交流課
			Ainslie KERR	特定職員	国際交流課
第25回理事会と同時開催			奥田 佳代	国際交流課員	国際交流課

AEARU Workshop on Advanced Materials Research (AEARU先端材料科学ワークショップ)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第3回	2009.11.11-13	浦項工科大学 南京大学及び東北 大学と共催	田部 勢津久	教授	人間・環境学研究科
			文致原	D3	工学研究科
			田中 範之	M2	工学研究科

AEARU Cultural Workshop (AEARU文化ワークショップ)

(担当: 吉田 城 文学研究科教授) 空席

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第5回	2009.11.5-8	北京大学 清華大学(新竹)と共	鈴木 在乃	講師	理学研究科

AEARU Molecular Biology and Biotechnology Workshop (AEARU分子生物学・生物工学ワークショップ)

(担当: 佐藤文彦 生命科学研究科教授)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
第10回	2009.11.11-13	国立台湾大学	竹安邦夫	教授	生命科学研究科
			平井悠哉	D1	生命科学研究科
			田代三喜	D1	生命科学研究科
			エロイス・ブリエト	M2	生命科学研究科

AEARU Student Summer Camp (AEARU学生サマーキャンプ)

会議名	期間	主催大学	参加者氏名	職名	所属
2009 第24回理事会で、ジェネラル とトピカルを区別せずに開催す ることで合意	2009.8.16-23	大阪大学	請川 裕紀	2年	法学部
			平坂 友里恵	4年	工学部
			小林 彩夏	2年	農学部
			林 綾香	2年	農学部